

又, Siphonales は FELDLMANN により Caulerpales 及び Eusiphonales に分離されたが、著者は OLTMANN の説により、体に隔膜がなく、体は非相稱で、石灰を被るものがあり、色素体は網状に連絡せず、配偶子は栄養体自身に、又は配偶子嚢に出来るものをこの族に入れている。之には 3 科, 7 属, 19 種 (中の 3 は新種, 更にその 2 は Silva のミル属の新種) が記載されている。

更に, Dasycladales は PASCHER (1931) が放射相稱の体を有する事により前の 2 族から分離した説により、体に隔膜がなく、生殖時にだけ多核、石灰を被り、色素体は網状に連絡せず、配偶子は配偶子嚢中に出来る族とし、之に 1 科, 3 属, 6 種 (中の 1 は新種) が明かにされている。

(北大理學部植物學教室 阪井興志雄)

學會錄事

本會會長山田幸男教授は去る 7 月中旬、ノールウエー國、トロンドハイム市に於ける第二回國際海藻専門討議會 (2nd International Seaweeds Symposium) に日本代表として出席のため 7 月上旬羽田空港を出發され、同會議終了後、 Lund, ダブリンを始め歐洲 9 ヶ國の著名なるハーバリウム及び大學、研究所等を歴訪、約 2 箇月間の長途の旅を終えて 9 月 6 日無事歸朝された。